

平成 20 年 10 月 22 日

報道関係者各位

PillCam[®] SB カプセルの撮像画像をリアルタイムで観察できる 携帯型機器「RAPID[®] リアルタイム」を発売開始

ギブン・イメージング株式会社(本社/東京都千代田区、社長/笈川 義徳)は、PillCam[®] カプセル内視鏡の撮像画像を、必要に応じて場所を選ばずリアルタイムで観察可能な「RAPID[®] リアルタイム」の発売を 2008 年 10 月 1 日に開始いたしました。

RAPID[®]リアルタイムの主な特長は次の3点です。

1. PillCam[®] SB カプセル内視鏡の撮像画像がリアルタイムで観察可能となるため、消化管運動機能の低下が懸念される患者様に対し、PillCam[®]カプセル内視鏡の胃の通過確認が可能となります。
2. ワークステーション(ソフトウェアがインストールされた専用コンピュータ)が設置されていない施設でも患者チェックインとデータレコーダ(撮像画像の記録装置)の初期化が可能です。
3. データレコーダに蓄積された生データを USB メモリにコピーすることができ、コピーしたデータをワークステーションで直接取り込むことが可能です。

(従来、病院での PillCam[®]カプセル内視鏡の画像診断は、検査が終了した 8 時間後にデータを回収してからでないと医療従事者が読影作業を行うことができませんでした。)

ギブン・イメージング社は最先端技術を用いて、世界で初めてカプセル内視鏡を開発し、患者様への負担が少ない消化管検査を実現したカプセル内視鏡のスペシャリストです。ギブン・イメージング社は、今後とも新たな製品、先進的なサービスを開発、提供することで、日本の消化器疾患診断・治療に貢献してまいります。

ギブン・イメージング社について

ギブン・イメージング社は、消化管疾患を発見するための、革新的で患者様に優しい製品を開発、製造、販売することで、消化管の診断に新たな定義をもたらしています。ギブン・イメージング社のテクノロジープラットフォームは、カプセルの中に小さなカメラを装着し、患者様が嚥下する使い捨ての PillCam[®] カプセル内視鏡と、データレコーダ、RAPID[®] ソフトウェアからなります。ギブン・イメージング社では、数種類のカプセル内視鏡を販売しており、アメリカをはじめ 60 カ国以上で発売されており、これまで世界で 75 万以上の患者様が PillCam[®] カプセル内視鏡検査を受診しています。ギブン・イメージング社が販売するカプセル内視鏡には、小腸全体を検査することができる小腸用カプセル内視鏡「PillCam[®] SB」の他、食道用カプセル内視鏡「PillCam[®] ESO」、大腸用カプセル内視鏡「PillCam[®] COLON」、そして PillCam[®]カプセル内視鏡が消化管を通過できるかどうか開通性をみるための「Agile[™] Patency カプセル」があります。PillCam[®] COLON は、欧州では CE マークを取得し販売されていますが、アメリカではまだ販売にいたっておりません。ギブン・イメージング社の本社、

工場、研究開発施設は、イスラエルのヨクナムにあり、アメリカ、ドイツ、フランス、日本、オーストラリア、シンガポールに子会社があります。

ギブン・イメージング社の大株主は、Elron Electronic Industries (NASDAQ & TASE: ELRN)です。さらに詳しい情報が知りたい方はこちらをご覧ください。

<http://www.givenimaging.com>.

注)日本では、PillCam® SB カプセル内視鏡(小腸用)のみ、承認、販売されています。

<本件に関するお問い合わせ先>

ギブン・イメージング広報デスク

(株式会社パーソン・マーステラ内)

担当; 福島、平田

TEL:03-3264-6713、FAX:03-3237-1244